

財政状況のお知らせ

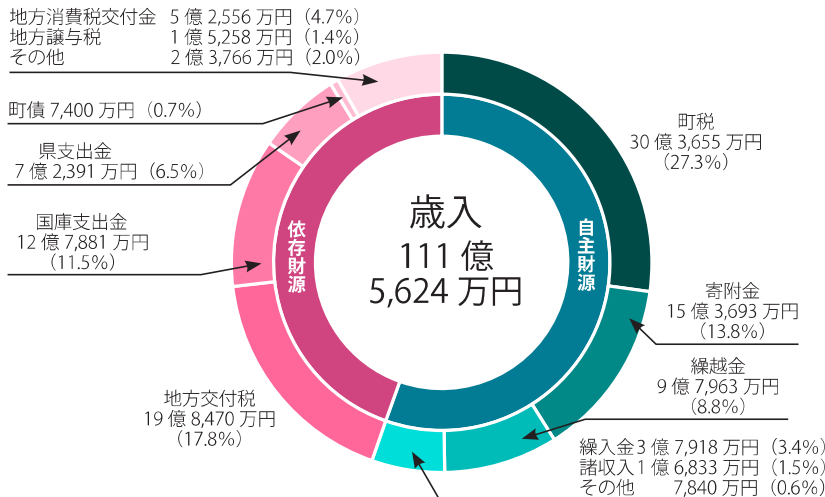
令和6年度決算状況
健全化判断比率および資金不足比率

令和7年第3回町議会定例会で、令和6年度の一般会計をはじめとする各会計の決算について審査され、決算が認定されました。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、健全化判断比率・資金不足比率と令和6年度決算状況についてお知らせします。

一般会計

歳入決算額の内訳

※本文および図表などは、千の位を四捨五入しています。



一般会計とは

福祉や教育など住民に広く行われる事業に係る会計のこと

特別会計とは

特定の事業を行う場合、一般会計と区分して経理する会計のこと

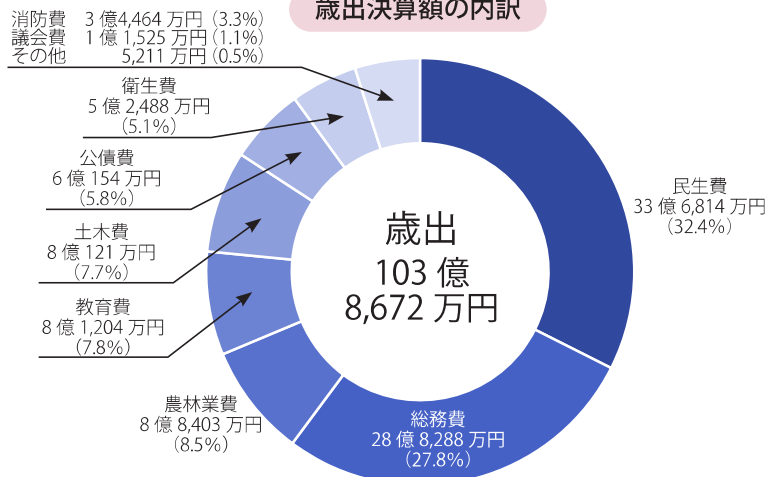
令和6年度決算総額は、

歳入が180億円

歳出が171億円

になりました。

歳出決算額の内訳



健全化判断比率とは

財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標

資金不足比率とは

町の公営企業の資金不足をその事業規模と比較して指標化したもの

いずれも国が定めた基準内に収まり、町の財政は健全な状態であると認められました。

特別会計

◆特別会計の決算状況

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	29億1,320万円	27億9,594万円
後期高齢者医療	2億9,958万円	2億9,190万円
介護保険	19億3,966万円	18億9,587万円
中央土地区画	1億7,123万円	1億6,437万円

◆企業会計の決算状況

区分	収入決算額	支出決算額
水道事業	収益的収支	5億3,235万円
	資本的収支	3億5,291万円
下水道事業	収益的収支	0
	資本的収支	6,148万円
下水道事業	収益的収支	6億3,229万円
	資本的収支	5億9,900万円
下水道事業	収益的収支	3億9,229万円
	資本的収支	5億5,248万円

健全化判断比率および資金不足比率

◆八千代町の健全化判断比率

	八千代町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.54%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.54%	30.00%
実質公債費比率	7.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	—

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」、将来負担額が解消されたため、将来負担比率は「—」と表示しています。

◆八千代町会計別資金不足比率

	水道	下水道	中央土地区画
資金不足比率	—	—	—
経営健全化基準	20.0%		

※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」と表示しています。